



かけ橋



令和4年12月1日
小平市立小平第八小学校
12月号

<https://www.kodaira.ed.jp/08kodaira>

仲間と共に ねばり強く

校長 井口 修

先日の学習発表会では、保護者の皆様に席の譲り合い、素早い入退場を行っていただきました。おかげ様で無事進行できました。ありがとうございます。

子どもたちは実にねばり強く準備しました。1年生、虫の世話を実際にしてきた経験をいかし、ダンス、ポーズ、歌詞を自分たちで考えました。休み時間も毎日楽しく踊り、完成させました。2年生、学年全員の音合わせ、気持ち合わせをとことん磨きました。「人前でやるのがこんなに緊張すると思わなかった。」とプレッシャーを感じる中、先にできた子が教え、助け合って完成させました。3年生、リコーダーと歌、ゲームで周りを感じ、一つになることを全力で目指しました。休み時間だけでなく家でも練習し、教え合い、相手を感じられるようになり、美しいハーモニーが完成しました。4年生、3つの踊りを地域の方に直接教えてもらいました。その後学習用端末を使って踊りを確認し、練習し、教え合い、子どもだけの力で踊りを完成させました。全員が3つをマスターし、学年が一つになりました。5年生、「合奏2曲の発表！」は、小初のチャレンジでした。朝早く登校し、自主練習も毎日実行しました。必死でしたが「楽しくやろう！」も合言葉でした。教え合い、助け合って難関を突破しました。6年生、企画、台本作り、準備、練習、とすべてを「児童発案」でつくりあげました。圧巻です。学習用端末を駆使して情報交換し、日本文化のすばらしさを皆に伝えました。「夢は自分たちの力で叶える！」という意思が表れていました。

今回の学習発表会は教職員もふんばりました。コロナ対策と子ども全員の活躍を両立するため、舞台やひな壇に上られる人数を割り出し、位置や体の向きを調整し続けました。表情も発表の一部です。舞台上上がったときにはマスクを外すため、前後左右の距離も厳密に計りました。学習発表会チーフのA主任教諭は、全学年、全ての場面を直接確認し、指示を出し続けました。その懸命な姿を見て、周りの教職員の士気も上がりました。今回の学習発表会は、子どもも大人も、ねばり強く対話を続け、思いを積み重ねてきた結晶である、と感じました。

本番当日、サブリーダー5年生は、「仲間がいれば助け合える。あきらめないことの大切さを学んだ。」とっていました。リーダー6年生は、「下級生にあこがれてもらえる発表にしようとかんばった。」と言い、クイズの中で「あきらめたらそこで試合終了」と伝えていました。何かを実現するため、あきらめず、仲間と共に、ねばり強く進んでいく子どもたちと教職員を、私は誇りに思います。

12月の生活目標 「友達と仲良くしよう」

最近では、タブレット端末のアプリや動画で、どこにいても学習ができるようになりました。しかし、それでも、学校に登校して学ぶことには、大きな意義があります。なぜなら、学校には学級・学年の仲間がいるからです。仲間がいれば、助け合い、支え合うことができます。切磋琢磨したり、新たな考えにはっとさせられたりし、自分を成長させることができます。みんなの力を合わせれば、大きなことを成し遂げることができます。そして何より、友達や仲間と笑い合って過ごす時間は、楽しいものです。そんな友達や仲間を大切に、尊重し合えるよう、言葉の掛け方や関わり方について、児童と一緒に考えていきます。

生活指導主任

【令和5年度 学級編制について】

校長 井口 修 より

子どもたちには、毎日安心して学校に通ってほしいです。安心して自分らしさを出せ、笑顔で過ごしてほしいです。そのためには、クラスがあたたかい雰囲気であることが大切です。そのクラスづくりを、子どもたちが自分事としてとらえ、自ら考え話し合い、協力しながらつくっていく、そんな八小を目指しています。その一環として、来年度から毎年4月に全学年でクラス替えをしたいと考えています。新しい友達と出会ったとき、どのようにして互いに分かり合っていくのか、折り合いをつけていくのか、集団としてあたたかい雰囲気をつくっていくのか、毎年学んでほしいのです。そうすることで「自分とは違う考えや多様性を受け入れる感覚を身につけてほしい」「やりたいことや夢を、自分たちで力を合わせ実現していく子どもたちに育ててほしい」と考えています。詳しくは12月の保護者会で説明させていただきます。

【年末年始の校庭遊び場開放について】

- ・ 令和4年12月27日（火）～令和5年1月5日（木）まで遊び場開放は中止です。
- ・ 【冬季休業中の開放日程・時間】
12月26日（月）、1月6日（金）、午前10時30分～午後4時30分